

## 第3学年国語科学習指導案

児童 3年3組 男子20名 女子10名 計30名  
指導者 石川 晃

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう  
教材名 「すがたをかえる大豆」(説明文)  
「食べ物はかせになろう」

### 2 児童と単元について

#### (1) 児童について

この学級の児童は、1学期の説明文教材「ありの行列」の学習において、中心文をもとにして段落の要点をまとめる学習をしている。読みの方法としては、問いの文と答えの文を見つける、題名や問いの文に関係のある重要語句を探しそれらをもとに中心文を見つける、等の活動を行ってきた。これらの学習を通して、中心文の存在に気づき、中心文を見つけられるようになってきている。また、「おもしろいもの、見つけた」の学習において、伝えたいことが読み手にきちんと伝わるように、事柄ごとに段落に分け、互いの順序を考えて書く学習をしている。取材カードにまとめたり、カードをもとに内容を膨らませたりする学習を通して段落や順序に気を付けて書けるようになってきている。

3年生になって初めての説明文である「ありの行列」を学習した後の7月に実施された国語科意識調査では、「あなたは国語の学習が好きですか」「あなたは進んで国語の授業に参加していますか」の質問にほとんどの児童が肯定的に答えている。このことから国語の学習に対して意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。

本単元の指導にあたり、事前に説明文の読み取りの実態を調査した。説明文を一読後、ほとんどの児童が段落に正しく番号を付けることができたが、内容を「はじめ・中・おわり」に分けることが不十分だったり、中心文を抜き出す作業に時間を要したりする児童も多く見られた。中心文を抜き出す上で具体例の部分抜き出す誤答が多く見られたので、重要語句を押さえ、前後の文や段落相互の関係から中心文を正しく抜き出すポイントを丁寧に確認することが必要である。また、書く活動においては、友だちに知らせる上で必要なことや落としてはいけないことを書き落とししたり、整理カードにメモした文章の内容を膨らませずにそのままつなげただけの短い作文を書いたりする児童も見られる。文章を書く際は読み手にわかりやすい文を書くことを意識させる必要がある。

#### (2) 単元と教材について

本単元「大事なことをたしかめよう」は段落や重要語句などに注意しながら要点を読み取り、教材文の内容を参考にして自分で調べたいものを選んでそれに関する情報を集めて文章にまとめることをねらいとしている。

教材文「すがたをかえる大豆」は児童にとって身近な食べ物である大豆や、その加工食品について書かれた読み物であり、児童は興味をもちながら読み進めることができるであろう。特に大豆の加工食品については、見た目からは大豆からできていると思われないものが多く、児童にとっては意外性がある。また、本教材は解説型の説明文教材である。段落構成やキーワードも明確であり、子どもたちにとって要点をまとめる学習は取り組みやすく、また書く活動の際のよい参考例にもなる教材である。この説明文で、今まで学習した中心文を見つける力や、段落の要点をまとめる力を確かめながら書く活動につなげていく学習を行いたい。

(3) 付けたい力と読みの方法

【付けたい力】

読みの方法

【段落相互の関係をとらえ、全体構成を理解する力】

<p>文章構成図にまとめる。</p> <p>・小見出し    ・接続語    ・答えの文    ・キーワード（重要語句）</p>
--

文章の内容を正しく読み取るためには、文章の構成を考えさせ、それぞれ何についてどのようなことが書かれているかということを理解させなければならない。

本単元では「はじめ」「中」「おわり」の3つの構成になっているが、その構成を比較教材「ありの行列」の一覧教材文と対比させながら、小見出しを書き込める学習シートを用いて文章構成図にまとめ、内容を的確に理解できるようにしたい。その際、「次に」「さらに」などの順序を表す接続語から「中」の段落を見つけ、キーワード「くふう」をもとに確認したり、答えの文の接続語「このように」から「おわり」の段落を見つけたりするなどして文章の構成を明確にし、段落相互の関係や役割についても正しく理解させていきたい。

この活動は、本単元の広める活動「食べ物がかせになろう」の際、書きたい文章の内容に応じて事柄や構成を考える力を育てる上での基礎となるとともに、発展的に応用させていく意味でも必要不可欠であると考え。

<p>段落の要点をまとめる。</p> <p>・中心文    ・キーワード（重要語句）    ・問いの文    ・クイズ作り</p>
---

段落の内容を正確に読み取ることは、文章構成を考える上で重要な条件である。そこで、子どもたちが段落の要点をまとめたり、細かい点に注意して読んだりできるような手立てを考えた。

「はじめ」と「おわり」の段落では、文章に一文ずつ番号をふり、話し合いの能率を高めていく。その際、番号をふった一文同士のかかわり合いや、内容理解を具体化させる拡大挿絵などをもとに全体で中心文を確認した上で要点をまとめることができるようにしたい。

更に「はじめ」の段落は、話題提示の段落であることから、キーワード「いろいろ」から「問いの文」を子どもたちに作成させて、その段落の役割を読み取らせていきたい。

「中」の段落では、キーワード「くふう」を手がかりに中心文を探し出したあと、「大豆に手を加えるときの言葉」や「すがたをかえてできた食品」を整理しながら内容を読み取らせる。更に、読み取ったことをクイズという形で個々に解釈・再構成させることで、児童が読みのめあてをもち、細部に注意しながら読むことができる力がついてくると考える。

これらの活動は、「食べ物がかせになろう」の学習で、集めた情報を関連付けていくつかのまとまりを形成していく過程の際に、子どもたちの思考を整理させていく上で重要な支援や手がかりになっていくと考える。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	<p>食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味を持って読もうとする。</p> <p>伝えたいことが明確になるように、段落相互の関係に注意して書こうとする。</p>	<p>・食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読もうとしている。</p> <p>・段落相互の関係に注意し、伝えたいことが明確になるように文章を書こうとしている。</p>
書く能力	<p>身近な食べ物について、情報を収集したり取捨選択したりしながら、段落に分けて文章にまとめることができる。</p> <p>&lt;書くことイエ&gt;</p>	<p>・調べて書く必要のある事柄を取捨選択し、書こうとするものの中心や段落と段落の続き方に注意しながら文章を書いている。</p>

読む能力	<p>中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、大豆を食べる工夫を正しく読み取ることができる。</p> <p>内容を大きくまとめたり、必要ところは細かい点に注意したりしながら読み取ることができる。</p> <p>&lt;読むことイオ&gt;</p>	<p>・中心となる語や文を手がかりに段落相互の関係を考え、内容を的確に理解しながら文章を読み取っている。</p> <p>・内容を意味ごとにまとめりとして理解したり、読み落としてはならない細かい点に注意しながら考えたりして、文章を読み取っている。</p>
言語についての知識・理解・技能	<p>文章全体における段落の役割を理解することができる。</p> <p>意味のつながりを考えながら指示語や接続語を使うことができる。</p> <p>&lt;言語事項オ(イ)(ウ)&gt;</p>	<p>・文章全体における段落の役割を理解している。</p> <p>・文や段落相互の関係を示す手がかりとして、指示語や接続語を使って説明している。</p>

#### 4 単元の指導計画と評価規準(17時間)

段階	時	学習活動	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
見通す	1	全文を読み、大豆を使った食品を確かめ、簡単な感想を書く。	大豆を使った食品に興味をもち、進んで読もうとする。 (発言、観察、ノート)	初めて知ったこと、驚いたこと等感想を書いている。 (ノート)	
	2	新出漢字や語句の意味を確かめ、学習計画をつかむ。	学習計画から、学習の見通しをもととする。 (観察、ノート)		新出漢字や語句の意味について理解している。 (発言、ノート)
深める	3 本時	全体を「はじめ」「中」「おわり」の3つに分ける。		接続語について理解し「はじめ」「中」「おわり」に分けている。 (発言、学習シート)	文章全体における段落の役割を理解している。 (発言、学習シート)
	4	「はじめ」の部分の内容を読み取り、要点をまとめる。		「はじめ」の部分の要点をまとめ、どんな話題を提示しているかを読み取っている。 (発言、ノート)	
	5 6	「中」の部分の内容を読み取り、大豆変身クイズを作り、大豆変身クイズを作る。	大豆変身クイズ作りに興味をもち、クイズを作ろうとする。 (観察、学習シート)	大豆をおいしく食べる工夫と食品を読み取り、大豆変身クイズを作っている。 (発言、学習シート)	
	7	「おわり」の部分の内容を読み取り、要点をまとめ、文章全体の感想を書く。	読み取ったことをもとに、まとめの感想を書こうとする。 (発言、ノート)	「おわり」の部分の要点をまとめ、大豆がいろいろなすがたで食べられるわけを読み取っている。 (発言、ノート)	

ま と め る	8	それぞれの段落の小見出しを考え、文章の構成を確認する。	小見出しについて、進んで理解しようとする。 (観察、学習シート)	それぞれの段落の小見出しを考え、段落相互の関係を読み取っている。 (発言、学習シート)	文章全体における段落の役割を理解している。 (発言、学習シート)
広 め る	9	「食べ物がかせになるう」を読み、調べたことを文章にまとめるまでの流れをつかむ。新出漢字を確かめる。	本作りに興味をもち、本にまとめるまでの活動の手順を理解しようとする。 (観察、ノート)	書く能力	新出漢字について理解している。 (ノート)
	10	調べたい食べ物を決め、学習計画を立てる。	調べたい食べ物を、進んで決めようとする。 (観察、学習シート)	食べ物の何について調べたいかを書き出し、学習計画を立てている。(学習シート)	
	11 12	「本で調べる」をもとに本での調べ方を知る。図書資料の中から調べたい事柄を選び出し、カードに書く。	進んで調べ、カードにたくさん書き出そうとする。 (観察、カード)	調べたいことをカードに書き出している。 (カード)	
	13 14 15	カードを整理し、カードのまとめりごとに文章を書き、清書する。		カードを整理し、まとめりごとに文章を書き、文章の構成を推敲している。 (カード、原稿用紙)	句読点、誤字・脱字に気を付けている。 (原稿用紙)
	16 17	文章をまとめ、本を作る。お互いにできた本を読み合い、感想を書く。	できた本について、自己評価をしようとする。 (ノート)	表紙・前書き・目次等を書いている。できた本を読み合い、感想を書いている。 (本、付箋紙)	

## 5 本時の指導 (3/17)

### (1) 本時の目標

各段落の接続語に注意して本文を読み、「はじめ」「中」「おわり」の構成を考えながら文章全体を3つのまとまりにわけることができる。

### (2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準 観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手立て
読む能力	それぞれの段落の接続語の役割を理解したり、まとまりの構成を考えたりしながら本文を3つにわけることができる。	それぞれの段落の接続語や構成に着目し、本文を3つのまとまりにわけることができる。	「ありの行列」の文章構成を振り返り、同じ性質の接続語を見つけさせたり、言葉の言い回しに着目させたりする。

	例)「おわり」の部分は、問いの答えが書いてある接続語「このように」から始まる段落から。「中」の部分は、「くふう」という言葉が段落の最初の文に出てきて、大豆がいろいろなすがたで食べられている様子が書いてある段落から。	例)「おわり」の部分は、「このように」という接続語から始まっているので、段落から。「中」の部分は、「次に」という接続語で始まる段落の一つ前の段落のから始まるので、段落から。	
言語についての知識・理解・技能	各段落の接続語を見つけ、段落と段落の関係をつなげるはたらきをしていることを、本文を引用して説明することができる。	各段落の接続語を見つけ、段落と段落の関係をつなげる手がかりになっていることを理解することができる。	友だちの考えを良く聞き、一覧教材文の接続語にしるしをつけ、役割を確認させる。

(3) 展開

段階	学習活動 発問 ・期待する児童の反応	教師の関わり方 ・留意事項 評価
見通す	1 前時の学習を振り返る。  2 学習課題を確認する。 だん落とだん落のつながりを考えながら、3つのまとまりにわけてみよう。  3 読みの視点をもち、学習の見通しをもつ。 ・視点1 ・接続語 ・答えの文 ・視点2 ・キーワード「くふう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文は「はじめ」「中」「おわり」の3つのまとまりから構成されていることを「ありの行列」の学習をもとに確認する。</li> <li>・大豆からできている食品がたくさんあり、おいしく食べるための工夫がされていることを、初発の感想などをもとに確認する。</li> <li>・3つのまとまりに分けることによって、本文の内容がすっきり分かりやすくなることを確認する。</li> <li>・3つのまとまりに分けるには、それぞれの段落の「接続語」が重要な手がかりになることを確認する。(視点1)</li> <li>・「ありの行列」の文章構成を想起させ、説明文には「問いの文」と「答えの文」のまとまりがあったことを確かめる。(視点1)</li> </ul>
5分		
深める	4 全文を音読する。  5 本文を3つのまとまりにわけ。 (1) 各段落の接続語を確認する。  (2)「おわり」のまとまりを見つける。 「おわり」の部分は、何段落からですか。接続語を手がかりに探しましょう。 ・「このように」は、前のたくさんの文をまとめている接続語なので、段落からです。 ・「ありの行列」では、「このように」から始まる文が「おわり」の部分の書き出しだったからです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を振り返り、接続語に注意しながら音読を聞くようにさせる。</li> <li>・一覧教材文を使用し、本文全体の流れが一枚でわかるようにして接続語同士の関わりを考えさせる。</li> <li>・「おわり」の部分は、教室掲示「ありの行列本文」から、「このように～」という接続語であることを手がかりに確認させる。</li> <li>・「ありの行列」では「おわり」の部分が「問い」に対する「答え」の部分であることを想起させ、つながりをもたせる。</li> </ul>

3 5 分	<p>(3)「中」のまとまりを見つける。 「はじめ」のまとまりと「中」のまとまりはどこで分けられますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>段落に接続語「次に」があり、その前の段落から大豆をおいしく食べる工夫が書かれていると思うので、段落からです。</li> </ul> <p>(4)「くふう」という言葉を本文からさがし、「はじめ」と「中」の間の段落を確認する。 「くふう」という言葉が出てくるのは、何段落ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>段落から 段落までです。 段落の「くふう」と ~ 段落の「くふう」の違いは何ですか。</li> <li>段落からの「くふう」は、いろいろな工夫をくわしく説明している文で使われています。</li> </ul> <p>6 3つのまとまりをまとめる。 本文を3つのまとまりにわけ、学習シートにまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「中」のまとまりも、接続語を手がかりに見つけることを確認する。</li> <li>段落「次に～」の接続語を手がかりに、前の段落もおなじ「中」のまとまりであることに気づかせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>「中」の始まりが 段落からであることを「くふう」という言葉で確認を行う。(視点2)</li> <li>一覧教材文から「くふう」という言葉を見つけ、全てにしるしを付けて確認する。</li> <li>段落の「おいしく食べるくふう」という言葉を、 ~ 段落の「くふう」のまとまりが、くわしく説明していることをおさえて確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文全体は、「はじめ」、くふうのまとまりが書かれている「中」、答えの文が書かれている「おわり」の3つに分けられていることを確認する。 それぞれの段落の接続語や構成に着目し、本文を3つのまとまりに分けることができたか。 (発言、学習シート)</li> </ul>
ま と め る 5 分	<p>7 今日の学習について振り返る。</p> <p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードに授業の振り返りを書く。</li> <li>「わたしたちが知っている大豆について」どのようなものか説明されてある「はじめ」の部分を学習することを確認する。</li> <li>次時の課題を書かせることで、次の時間の学習への意欲をもたせる。</li> </ul>

(4) 板書計画

大豆のよいところに・・・おどろかされます。	このように、大豆は・・・食べられています。	「おわり」(8・9)	これらのほかに・・・くふうした・・・あります。	さらに、目に見えない・・・くふうもあります。	また、大豆に・・・くふうもあります。	次に、こなにひいて・・・くふうがあります。	いちばん分かりやすい・・・くふうです。	「中」(3・4・5・6・7)	大豆は、ダイズという植物のたねです。	わたしたちの毎日の・・・出てきます。	「はじめ」(1・2)	<p>かだい</p> <p>だん落とだん落のつながりを考えながら、3つのまとまりに分けてみよう。</p>	すがたをかえる大豆 国分牧衛
-----------------------	-----------------------	------------	-------------------------	------------------------	--------------------	-----------------------	---------------------	----------------	--------------------	--------------------	------------	--	----------------